



The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

浜松志耀ロータリークラブ 第 89 回例会

開催日時: 2026 年 10 月 1 (木) 7:30 ~ 8:30
開催場所: オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間

■ 会長挨拶 松井会長

皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、2026-27 年度ガバナー若林様、地区幹事竹田様、地区副幹事 鈴木様、岩澤様、ガバナー補佐藤井様、事務局長杉山様、事務局次長町田様、医療特化型有料老人ホーム メディカルケアホーム日里(あかり)施設長 瀧本様、朝早くから、私ども浜松志耀ロータリークラブの例会にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私ども浜松志耀ロータリークラブは、2022 年 10 月 26 日に加盟認証を受け、この秋でちょうど 4 年を迎える若いクラブでございます。現在は会員 31 名が、第 2 第 4 木曜日の早朝 7 時より、オークラクトシティホテル浜松にて例会を開催しております。

本年度、当クラブは「奉仕と地域 — 心をつなぎ、未来を照らす」をテーマに掲げております。また、志耀の名は小澤創立会長が、志しが光り輝くようなクラブを目指して命名しました。その思いも込めたテーマでございます。

そして、まず申し上げたいのは、2024-25 年度に当クラブがクラブ優秀賞を頂いたことでございます。創設、間もないクラブにとって大きな自信となりました。これも地区の皆さまのご指導と、会員一人ひとりの力の賜物であり、心より感謝いたしております。

奉仕事業では、浜松市社会福祉協議会への継続的寄付や、JR 浜松駅前での街頭募金、「子どもの心を育む活動募金」を通じて、地域福祉と子どもたちを支えてまいりました。小さな活動ではございますが、会員がまちに出て奉仕の心を形にする、大切な機会となっております。また、ポリオ根絶に向けた 取り組みを継続するとともに、今年度地区補助金事業において、盲導犬の紹介と理解を深める活動を児童養護施設、清明寮や他の施設の子供たちとともに行います(清明寮は、18 歳までの子ども達が 児童相談所の措置を受け入寮します。子ども達の健全な育成を図り、一人ひとりの発達段階や個性を尊重し、「子どもの最善の利益」を目指し、自立を支援することを目的とする児童養護施設です)。

本年度は二つの柱を掲げております。第一は「奉仕と地域の一体化」でございます。地域の課題に耳を傾け、学校や福祉施設、地元企業や行政との連携を深めながら、地域の中で必要とされるロータリーを目指してまいります。

第二は「親睦の強化と会員増強」でございます。創設 4 年という若いクラブの活力を支えるのは、仲間の絆にほかなりません。誰もが居場所と誇りを感じられる、温かいクラブづくりを進めてまいります。

若林ガバナー、ご同行の皆様、本日のご訪問は、歩み始めて 4 年の若いクラブにとりまして、何よりも大きな励みでございます。ガバナーのお話から多くを学び、地域に愛され、地域に貢献できるクラブでありたいと思っています。今後とも変わらぬ ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。心よりお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

■ 幹事報告 平野幹事

①募金活動で掲示する横断幕を作成中②新入会員候補 BAND に掲示中③10 月 10 日清明寮奉仕活動の後理事会です。

■ 委員会報告

10 月 10 日 地区補助金事業(例会) 奉仕プロジェクト委員会 平出委員長

清明寮にて盲導犬セミナー開催の予定。参加の方よろしく願いたします。

■ 米山奨学生 王馨可さんへ奨学金授与

大学生なので、今日から後期の授業が始まります。文芸大最後の期間、勉強と研究にがんばります。

■ 議事 ガバナー公式訪問 若林秀典 2026-27 年度ガバナーご挨拶 担当: 平野幹事

藤枝南 RC 会員、歯科医師、歯科医院を経営するなか今年度ガバナーをお務めになられています。国際ロータリーの方針と地区の方針を交えながら、若林ガバナーの考える奉仕とロータリー活動の実践の仕方について多くの示唆に富むお話を頂戴しました。

・年度ごとに交代するガバナーや会長の方針ではなく、継続して地域に持続的な「インパクト」を残していくことが大切。「変化」にとどめず、「インパクト」に発展させていく。

・募金活動や寄付をする、でもその寄付や募金は何のためか、ポリオ根絶のため、まず「自分自身」がポリオを知らないといけない。

・まず「自分自身」を変えることから始める(国際ロータリー会長ババロア氏)。

・ガバナー 若林秀典(藤枝南 RC) 国際ロータリー第 2620 地区 2026-27 年度のガバナーを拝命しました若林秀典(藤枝南 RC)です。私の本職は歯科医師ですが今年 1 年は歯ではなく、2620 地区クラブの未来づくりのお手伝いをさせていただき所存でございます。浜松志耀 RC はスポンサークラブがなく、新クラブアドバイザー岡本一八バスターガバナーのもと 2022 年(令和 4 年)創立したと聞いております。2620 地区では 1 番若いクラブです。

さて、今年の RI 会長(オンライン: ハキーム・ハバロラ: ナイジェリア国)メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう」です。このメッセージには「変化は始まりに過ぎません。真に重要なのは長く続くインパクトです。私たちは各プロジェクトの長期的なインパクトを考える必要があります。」

新しい水道システムは地域住民の健康にどのように寄与するのか。住民は他の地域でも同様の仕組作りを行えるのか。新しい教室はこの地域の教育向上のためのより大きな計画の中でどのような役割を果たすのか。と問題を提起してきました。

私なりに解釈をすると私たちロータリアンが目指すのは一度きりの奉仕ではありません。その場だけ喜ばれて終わる活動ではなく、10 年後、20 年後にも地域に良い影響が残る活動をしよということだと考えます。

各クラブにおいては長年、継続してやっている事業があると思います。ただ、それは前年踏襲でマンネリ化していませんか? 予算や人的パワーの問題もあるでしょうが少し、手を加えるだけで画期的になるかもしれません。知恵を出し合ってみましょう。

地区のほうに話を移しますと 2620 地区の考えは 3S シンプル(simple)、スリム(slim)、スマート(smart)です。事業計画、予算、委員会構成、人数等できるだけわかりやすく、無駄を省き、簡便にしていきたいと思います。無理して背伸びすることなく、身の丈に合ったことをすれば十分ではないでしょうか。

そしてロータリアンの心構えとして 3K を大切にしてください。

会社の K(事業)を第一優先事業にしてください。会社の存続があつてのロータリーです。

各自の健康 K に気をつけてください。病氣や怪我無く、無事に過ごすことが大事です。



家族 K の理解 自分だけが楽しむだけではなく、家族の協力、理解があってロータリー活動が続けられていることを常に感謝しましょう。

ロータリーの始まりは 4 人でした。それが今では 200 以上の国、地域で約 117 万人のメンバーがいます。ロータリアン一人ひとりの力は微々たるものですがこれだけの人数が結集すれば地区、地域がいい方向に変わるかもしれません。「ハチドリの一滴」のように。

「楽しくなければロータリーではない」とよく言われます。この 1 年、ロータリーライフを楽しみましょう。
よろしくお願いいたします。

■ スマイル報告 原田会員

- ①松井会長ー若林ガバナー始めゲストの皆様への感謝。ご指導よろしくお願いいたします。
- ②山本会員・衛藤会員ーゲストへの感謝。当クラブ後援 3 月 14 日(日) 遠州エンタメフェスの告知と参加募集。募金活動もします。元おニャン子クラブメンバーの渡辺美奈代さんもスペシャルゲスト。
- ③小澤会員ー見学者瀧本様への感謝。
- ④小澤会員・村田会員ー若林ガバナー始めゲストの皆様への感謝。ご指導よろしくお願いいたします。

■ 出席報告 種村会員 ■ 司会進行 西川会員



※ゲスト8名(若林秀典ガバナー、藤井一ガバナー補佐、竹田敏和地区幹事、杉山政隆ガバナー補佐事務局長、鈴木健夫地区副幹事、町田米男ガバナー補佐事務局次長、岩澤秀治地区副幹事、米山奨学生 王馨香さん)

見学者1名(メディカルケアホーム日里(あかり)施設長 瀧本浩子さん)

※出席率:68%(会場 17名+BAND 4=21名/31名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場/オークラアクティシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 info@h-siyou-r.club

